

令和8年西条市二十歳の集い

丹原文化会館

二十歳の主張

飯塚 麻湖

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を催して頂き誠にありがとうございます。

市長をはじめご来賓、御臨席を賜りました方々、ご尽力くださったすべての皆様に、心よりお礼申し上げます。

生まれ育ったこの西条市で、幼い頃から過ごした友人と共に無事にこの日を迎えることができ、とても嬉しく思います。

また、ここまで育ててくれた両親を含め、今まで私と出会い支えてくださった全ての方々に対しての感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、現在東京の大学に進学し、勉学に励んでいます。西条市を離れ、県外での新しい生活を始めることには、大きな期待と同じくらいの不安がありました。見知らぬ環境の中で、うまくやっていけるのか、学びについていけるのか、自信が持てないまま大学生活を迎えたことを覚えています。しかし、実際に大学に入ると、多様な価値観を持つ人々との出会いや、新しい学問からの学びを通して、自分の視野が大きく広がっていきました。そしてその経験や今日この日を迎えるまでの二十年間の多くの出会いと支えが、私にたくさんのこと教えてくれました。そこから海外留学や社会貢献のためのボランティア活動など多くの挑戦をすることができました。挑戦には不安が伴いますが、そこから得られる喜びや学びは、必ず自分を強くしてくれると実感しています。

二十歳という節目を迎え、私たちはそれぞれ新たな生活に踏み出そうとしています。大人としての自覚と責任を持つこと、そして今まで支えてくださった方々への感謝を忘れないこと、また、このように私が挑戦し、成長できたのは、家族や友人たちからの支えや応援があったからだと思います。どんなときも、私を見放さず、手を差し伸べてくれて本当にありがとうございます。

これから先、一人一人に新しい挑戦の機会が訪れるはずです。そのときは、不安にとらわれるのではなく西条市で過ごした経験と自分の可能性を信じて、勇気を出して一步踏み出してみてください、私自身もこうした姿勢を大切にしてこれから的人生を歩んでいきたいと思います。

最後になりましたが、本日はこのような発言の機会をいただき、誠にありがとうございます

ました。

以上を持ちまして、私の二十歳の主張とさせていただきます。